

月

Gessin
GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER

信



12月号 No.7
DECEMBER
2023

ロータリーの偉人⑦

Courtesy of Rotary International.

Edgar F. Allen

奉仕の理念 実践派の代表格 エドガー・アレン

オハイオ州エリリアの病院の院長であったエドガー・アレンは、自身の子どもを事故で亡くした経験から人生を身体障害者の支援に捧げました。当時、身体障害児問題に関心を寄せるロータリークラブが増えている中、ロータリーによって障害児の救済活動を拡大強化したいという思いでエリリアロータリークラブに入会し、身体障害者養護学校や身体障害児保護国際協会（後のリハビリテーション・インターナショナル）の設立を成し遂げました。一方で、奉仕の精神の理論派からの非難に悩み、その思いをつづった手紙をポール・ハリスに送り、これが、後に理論と実践がロータリーを動かす両輪であるとする「決議23-34」へとつながりました。

〈2023-2024年度 第2700地区ガバナーメッセージ〉

ロータリーを開き、ロータリーを前進させよう

国際ロータリー第2700地区ガバナー

吉田 知弘 (福岡東RC)



2023-2024年度国際ロータリーのテーマ
世界に希望を生み出そう



すべてのクラブに感謝を

国際ロータリー 第2700地区

ガバナー 吉田 知弘 (福岡東 RC)

ガバナー公式訪問を終えて

去る11月16日、わが福岡東ロータリークラブ(ガバナー所属)のクラブ訪問をもって全てのガバナー公式訪問を終えました。すべてのクラブすべてのロータリーの御歓迎に心よりの感謝を差し上げ、厚く厚く幾重にも御礼を申し上げます。

皆さま方のお声はすべて聞き届けました。私は定量指向の数字を重んじつつもそれを超えてロータリーを伝承する心意気がいかにどのものか、その熱量を感じ取りたく思いました。私の心に響かなかったクラブのお声は一つもありません。クラブごとの歴史と伝統、それぞれの現状認識を映し出して、それぞれの自負、その裏返しとしての悩み、ときにはそれを突破して進もうとする真摯な姿勢や態度、クラブを思えばこそその意気込み、あるいはそれ以上の力み…等々ガバナーとして心に響かないものは一つもなく、その全てに耳を傾けられたことは正にガバナー冥利に尽きるものであります。心が震えました。本当にありがとうございました。

訪問の都度にご説明しましたとおり、ロータリーは大きな変革期にあり、それにはそれ相応の理由があります。その一方で近年注目を集めた「SRF(ロータリー未来形成計画)」は2022年規定審議会での提案撤回以来RI理事会においてその言葉自体が既に消失しています。現状は、RIBIとZone8でのパイロットが残るだけの状態にあり、辛うじて維持されたこのパイロットも今なお揺れて動く状態にあり具体的な内容を定めるには至りません。まして評価可能な成果に繋がるかなどは全く未知数の状況にあります。それでもはっきりしているのは「環境に適應して進化しなくてはロータリーの未来がない」という危機認識であり、この点だけはRIの中で共有されているように見えます。われわれはクラブの未来、ロータリーの未来を放棄するわけにはいきません。様々に意見の相違があっても

その隔たりを超えてロータリーの未来を共に支える、この一点においてはわれわれの力を糾合することができるものと信じています。クラブの自発性こそがロータリーの命です。地区内全てのクラブに対してRIを代理する立場にある者として、クラブをしっかりと支えていくことが地区の役割であることを確認します。心ひとつにクラブとロータリーの未来を育てていただきたい。御協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

疾病予防と治療月間によせて

12月の特別月間のテーマは7つの重点分野の一つである「疾病予防と治療」です。7つの重点分野のこと、ロータリー特別月間のことは繰り返しません。絶大なダメージをもたらしたコロナ禍を克服しつつある今こそ公衆衛生への取組の重要性を確認し、また改めてポリオに対する理解も深めていただきたいと思います。本年11月21日、22日に開催された第52回ロータリー研究会(於:神戸ポートピアホテル)では、コロナ対応のシンボルともいべき尾身茂氏がポリオについてご講演なさいました。コロナとポリオは地続きの問題であることが実感され、大変興味深く思った次第です。

この機会に、疾病予防と治療に関するロータリーのウェブサイトをご是非ご確認ください(疾病との闘い! Rotary International)。併せてロータリー財団委員会から別に提供される記事をよく読み、理解を深めていただければ幸いです。

このウェブサイトから、オープニングコメントを引用して、本稿の結びとします。

＝誰にとっても「健康であること」は何より大切。でも、基本医療を受けられない人は世界で4億人とされています。質の高い医療を受ける権利はすべての人にあると、私たちは信じています。

災害義援金報告

地区幹事 大神 朋子 (福岡東RC)

「令和5年7月豪雨災害」に対する義援金についてご報告致します。

同災害につきまして、2023年8月10日付けで、2700地区各クラブへ義援金のご寄付をお願い致しましたところ、49クラブより、合計206万9,775円のご寄付をいただきました。

そのなかから、災害義援金の支援要請がございましたR12540地区に対し、これまで同地区より当地区がいただいた寄付額118万円5000円（内訳2017年30万円、2020年88万5000円）と同額を送金致しました。

そして、2700地区内の災害救助法の適用が発表された10自治体に対しての災害義援金として、福岡県に対し、各クラブからの寄付金と地区危機管理資金からの支出を合わせて合計100万円を贈呈しました。

同災害義援金については、本年10月25日に福岡県庁において、吉田ガバナーより大曲明恵副知事に対し贈呈を致しました。

会員の皆様の善意に感謝申し上げます。
以上、ご報告致します。



PDFでは各項目をクリックすると資料を閲覧またはダウンロードできます。
項目によっては事前にマイロータリーへのログインが必要になります。

一般的な参考資料

マイロータリー
2023-24年度テーマロゴ
2023-24年度RIテーマ講演
2023-24年度会長イニシアチブ(概要)
ロータリー賞
組織規定・ロータリー章典・R財団章典
決議審議会・規定審議会
ロータリーについて
ロータリーの優先活動
ロータリーの組織構成
ロータリーのリーダー
パートナー
ロータリーの歴史
年次報告 / 財務情報
ロータリーのラーニングセンター

ロータリーの行動計画

行動計画のリソース
「クラブを通じてできること」のチラシ
戦略計画立案ガイド
戦略的優先事項の白書 1・2・3・4

多様性、公平さ、インクルージョン

多様性、公平さ、インクルージョンに関するリソース
ロータリーのDEI行動規範
DEIに関する用語とその説明
「多様な会員が集まるクラブに」の調査
マイクロアグレッションへの対応方法(演習)
マイクロアグレッション:謝る時のポイント

ロータリー財団

ロータリー財団について / 歴史
重点分野
重点分野のパンフレット
ロータリー財団参照ガイド
グローバル補助金ガイド
グローバル補助金のモニタリングと評価の計画に関する補足資料
ご寄付
ご寄付の方法
計画寄付
寄付者の認証

持続可能性のための6つのステップ
ロータリーカード(オリコ)
ロータリーカード(ダイナース)
寄付&補助金ニュースレター
ポール・ハリス・ソサエティ
ロータリー平和フェロウシップ:ロータリアンの役割
ロータリー補助金
恒久基金

ポリオプラス

ポリオ根絶(End Polio Now)支援サイト

会員増強

会員増強
クラブの現状を評価し、適応する
クラブ計画アシスタンス
クラブの健康チェック
会員増強のための評価ツール(下記一括)
・地元の職業を反映したクラブに(職業分類調査)
・多様な会員が集まるクラブに(会員多様性調査)
・入会候補者を見つける(会員候補者情報の収集)
・会員維持力を高める(会員維持調査・分析)
・会員の満足度を高める(会員満足度アンケート)
・退会の理由を理解する(退会者アンケート)
現会員の参加を促す
奉仕と友情の輪を広げよう
スキルとネットワーク
入会候補者をつながる
入会候補者向けのチラシ
「ロータリーとは?」名刺サイズのカード
入会候補者向けイベントの開催
「若い世代の職業人とともに」デジタルキット
カスタマイズ可能なクラブパンフレット
入会候補者を見つける
入会候補者への対応マニュアル
法人会員導入ガイド
入会候補者情報プログラムでクラブの会員増強を図る
入会候補者情報プログラムで地区の会員増強を図る
ロータリーの成長を導くイベントを計画しよう
新会員が溶け込みやすい環境をつくる
ロータリーへようこそ(ビデオ)
新会員オリエンテーション
ロータリーの基本情報

活気あるクラブをつくる

会員増強ガイド：地域に合った計画を立てよう
元気なクラブづくりのために
クラブ運営の柔軟性
クラブ会員増強委員会のためのチェックリスト
地区会員増強委員長 研修セミナー

新クラブを結成する

新クラブをつくろう
ロータリークラブ結成ガイド
クラブのモデル
衛星クラブのガイド
パスポートクラブのガイド
新クラブを育成する

ロータリーの奉仕・参加促進

地域調査の方法
「地区委員会」のページ
奉仕・参加促進に関する動画
プロジェクト向上プロセスに関するよくある質問
プロジェクトフェア
プロジェクトの流れに関するリソース
・My ROTARYのフォーラム
ーグループへの参加手順
・ロータリーショーケース
ーロータリーショーケースガイド
ロータリー行動グループ
ロータリー地域社会共同隊(RCC)
ロータリー重点分野ガイド
ロータリー奉仕のニュースレター
職業奉仕の手引き：実践しよう
ロータリー親睦活動グループ
ロータリー友情交換

若いリーダーのためのリソース

インターアクト
インターアクト提唱 ロータリークラブとアドバイザー向けのガイド
ローターアクト
ローターアクトハンドブック
標準ローターアクトクラブ定款
青少年交換
青少年交換ハンドブック
ロータリー青少年保護の手引き

ロータリーの公共イメージ

ロータリーボイス(ロータリーの公式ブログ)
ブランドリソースセンター
ロータリーのブランドについて
「世界を変える行動人」のメッセージ
広報
メッセージ作成ガイド
メディアセンター(ロータリーの概要資料など)

学友

ロータリーの学友

役割別・運営

新会員
クラブの役割
研修リーダー
地区の役割
クラブと地区の運営
ニュースレター(登録)
各種レポート
ロータリークラブセントラル

各種賞・表彰

各種賞・表彰

ロータリー国際大会

ロータリー国際大会

関連団体

ロータリーの友
四つのテスト(由来)
ロータリアンの行動規範
決議23-34(英語・日本語)
ポール・ハリスとロータリー(アニメーション)
ロータリー文庫
(公財)ロータリー米山記念奨学会
(公財)米山梅吉記念館
(一社)国際ロータリー青少年交換多地区合同機構
情報研究会
RLI日本支部
GPEI / 世界ポリオ根絶推進計画

ウクライナ支援

ウクライナ危機へのロータリーの対応・支援方法

疾病予防と治療月間

ロータリー財団委員会
委員長 中村 光 (宗像 RC)

12月は重点分野である「疾病予防と治療月間」です。疾病の原因と影響を減らすための活動を強調する月間です。

疾病予防

世界保健機関(WHO)によると、2019年の世界の死因トップ10のうち、心血管疾患、糖尿病、認知症、がんなどの非伝染性疾患が七つを占めました。毎年、30～69歳の1,500万人以上が非伝染性疾患のために死亡しており、その内85%が低・中所得国で発生しています。伝染病による死亡率は世界的に減少しているものの、低・中所得国では依然として課題となっています。

ポリオの根絶は目前に迫っていますが、結核、HIV／AIDS、マラリアなどの伝染病は、これらの国で依然として主要な死因となっており、進展もあまり見られないままであるとの報告もあります。また、WHOによると、10億人がデング熱、シャーガス病、睡眠病、河川盲目症などの「顧みられない熱帯病」に罹患しています。

医療サービス

国連によると、基本的な医療サービスを利用できるのは世界人口の半数以下です。新型コロナウイルスの流行、自然災害、紛争などの大規模な混乱は、医療従事者、施設、その他のサービスへのアクセスを低下させ、伝染病や非伝染病の予防における数十年の改善を覆す可能性があります。人口1万人あたりの医師数が10人未満の国が全体の40%以上、また、人口1万人あたりの看護師・助産師数が40人未満の国は55%以上となっています。主に発展途上国では、1,800万人の医療従事者が追加が必要とされています。

「疾病予防と治療」分野における

ロータリー財団の目標

ロータリーは、疾病の原因と影響を減らすための活動を支援します。これによりロータリー会員は、伝染病の伝播を食い止め、非伝染病の発生と影響を減らし、医療システムを強化するプロジェクトを推進することによって、疾病の予防と治療を行い、人びとの健康を支えることができます。

医療システムには、医療サービスを提供する公共、民間、非政府の機関が含まれます。世界保健機関(WHO)は、「すべての人が必要なときに、いつでも、どこでも、質の高いサービスを提供する」のが優れた医療システムであるとみなしています。

疾病予防と治療における目標を

以下の方法で達成できます。

- 地元の医療従事者の能力向上。
- 伝染病の伝播を食い止め、非伝染病の発生と影響を減らすための、疾病予防・治療プログラムの推進。
- 医療システムの強化。
- 臨床治療および身体障がいのためのリハビリの提供。
- 疾病予防と治療に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための大学院レベルの奨学金支援。(ロータリー財団奨学生)

みなさまロータリー会員が行動することによりこの目標を達成することができます。ロータリー財団補助金で資金面の支援もできますので詳しくはお問い合わせください。

吉田年度
第2回 **ガバナー諮問委員会 議事録**

日時／2023年 9月13日（水） 15時00分～16時45分

場所／福岡朝日ビル地下1階 11号会議室

【出席者】廣畑PG、原田PG、小山田PG、穴井PG、本田PG、岡野PG、灘谷PG、貫PG、西島PG、吉田G、野崎 GE、濱野GN、大神地区幹事、大橋次年度地区幹事 [以上14名]（敬称略）

【欠席者】大島PG、立花PG、波多野PG、井手PG、富田PG、安増PG、古賀PG [以上7名]

議事進行 大神地区幹事

1. 吉田ガバナーご挨拶

吉田ガバナー

現在は公式訪問の真っ最中で、10月に入ると各地区の地区大会が始まります。11月にはロータリー研究会の開催という慌ただしい状況です。会計の報告が主な議題となりますが、本日はどうぞよろしくお願い致します。

2. 2022-2023年度会計報告

渡邊前年度地区会計長

2022-2023年度地区会計を8月4日に地区財務委員会へ報告し8月22日に地区監査委員の承認を受けたこと、会計内容の詳細についての報告がなされた。

(1) 一般会計の部

① 総括

総収入41,311,008円は予算対比で635,562円の増加、総支出費35,470,303円は予算対比では、5,063,697円支出は減少。その結果、当期収支差額は5,840,705円となり、次年度への繰越金は60,002,463円となった。

② 収入

予算では、地区資金は会員数3,200名を予想して編成したが、実際の会員数が3,068名だったため決算では会員数の減少分だけ収入が減少。前年度の地区大会剰余金繰入額が、予算対比2,001,875円増加。月信購読料は会員数分に加えクラブからの購入があるため予算に近い金額となった。

③ 支出

本年度も前年度に引き続き新型コロナの影響はあったものの、ロータリー活動は徐々に元に戻りつつあり、活動費も増加傾向である。本年度、世界的な材料不足、物価高の影響で紙の価格が高騰し月信の費用が影響を受けた。また、退職金準備の為、2023年1月より計上されている。

委員会活動では、クラブ運営支援委員会、DX推進委員会の新設、期の途中より財務委員会、審議会立法案検討委員会も発足し、ロータリー運営の育成、教育、継承への支出が発生している。また、デジタル化に応じたzoom手数料、回線、プロバイダー等の支出も継続的に発生している。

(2) 特別会計の部

① 地区大会等分担金特別会計

西島ガバナーのエレクト年度からの2年間の収支報告となる。

収入は、地区大会等分担金、5大会議等運営助成金、役職者等委員会会議費等の収入合計であり、37,385,064円となった。それに対する支出として、5大会議関係費5,119,114円、地区大会等実施に伴う費用29,518,816円であり、支出合計36,826,203円となった。次年度繰越金は558,861円となる。

② 国際青少年交換資金特別会計

本年度は新型コロナウイルス感染症の影響は落ち着き、交換留学生の受け入れ活動も再開したため、オリエンテーション費が予算を419,809円上回ったが、水際対策措置費が減少し、全体では671,311円の減

少となり、次年度繰越金は6,302,271円となる。

③ 奉仕プロジェクト資金特別会計

門司ロータリークラブ、小倉東ロータリークラブによるネパールでの活動費が1,090,720円支出された。次年度繰越金は6,638,566円となる。

④ 地区事業対応資金特別会計

本年度の特別事業として、宗像国際環境会議の継続、27クラブのオープンロータリーが実施され、1,835,252円の支出となった。次年度繰越金は5,066,247円となる。

⑤ 地区危機管理対応資金特別会計

本年度の支出として、トルコ、シリア地震への義援金として1,000,000円を支出し、次年度繰越金は14,633,884円となる。

(3) 貸借対照表

資産の部には、立替金は地区大会等の前払金として福岡東ロータリークラブに対する6,000,000円の立替金債権支払が含まれている。負債の部に関しては、退職給付準備積立金、規定審議会旅行準備積立金の計上を行っている。資産の部は合計65,462,038円、負債の部は合計5,459,575円となる。

(4) 地区資金次年度繰越金合計

収支合計表に記載の通り、次年度繰越金は一般会計60,002,463円、地区大会等分担金特別会計558,861円、国際青少年交換資金特別会計6,302,271円、奉仕プロジェクト資金特別会計6,638,566円、地区事業対応資金特別会計5,066,247円、地区危機管理対応資金特別会計14,633,884円、合計93,202,292円となった。

(5) 質疑応答

貫パストガバナー

一般会計の前年度繰越金の予算と決算の差異の要因は何か。

瀬谷パストガバナー

西島年度予算段階では、前年度の繰越金が確定する前に次年度繰越金予算を暫定的に計上している。時間的な差が要因である。

3. 吉田ガバナー現況報告

吉田ガバナー

(1) 会員数報告

- ・8月末会員数3,120名（内、女性会員247名）である。
- ・前年度期末からは約100名の回復傾向にあり、会員数が持ち直していることは喜ばしいことである。
- ・当年度は3,200名を必達目標数としているので、成果があらわれるよう今後の活動に期待をしたい。

(2) 第2700地区寄付状況

- ・8月末現在、ロータリー財団59,381ドルである。
- ・8月末現在、米山記念奨学会11,532,815円である。
- ・年度スタート段階での数値であるが、順調と考えられる。
- ・半期ごとにまとめて納金するクラブも多くあるので、半期過ぎに検証を行いたい。

(3) 日経新聞全面広告掲載協賛の依頼

- ・佐藤RI理事より広告掲載協賛の要請を受けている。協賛は一口100,000円で、昨年度にない、二口を抛出する予定である。
- ・目的は「ロータリーのブランディング」と「公共イメージの向上」であるが、佐藤RI理事により推進されている「ポリオ・デイ」、今年度RIテーマ「世界に希望を生み出そう」と「Grow Rotary」の3つのテーマについて広く周知していくことであると理解いただきたい。
- ・公共イメージを向上させる意味でも、国民に広く周知されており、ロータリーのポリオ根絶に対する取り組みと貢献を理解されている尾身茂氏のインタビュー記事の掲載が予定されている。また、ロータリー研究会のメイン講師としても尾身氏が予定されている。

(4) 公式訪問

- ・60クラブの訪問を50会場予定しており、28会場終了してほぼ折り返し地点順調に進んでいる。
- ・引き続き、各クラブ会長・幹事としっかりとコミュニケーションを図りたい。

(5) エンドポリオ・九州4地区合同イベント

- ・10月28日に九州4地区合同で「エンドポリオ」にターゲットを合わせ、イベントを実施する。
- ・各地区がそれぞれのイベントを企画しており、当地区は福岡護国神社に特設会場を設けイベントを開催する。

(6) 質疑応答

————— 穴井パストガバナー

会員数は前年同月比が参考になり、ロータリーの友にて確認できる。

寄付額は昨年対比が参考になる。西島年度は日本平均より当地区は若干低く、一人あたり年次寄付額119ドル50セント、順位としては34地区中21番目であった。

————— 吉田ガバナー

重要なお指摘であり、次年度以降は期末の寄付額実績を準備する。また、米山記念奨学前年度収支報告書を公式訪問時に各クラブ会長へ配布し、自クラブと他クラブの現状を客観的に伝えて寄付額に向上につながる活動を促している。寄付率については10年前と比して約3倍になっており改善傾向である。

4. 野崎ガバナーエレクト報告

————— 野崎ガバナーエレクト

(1) ガバナーエレクト研修セミナー報告

- ・9月4日と5日の2日間開催され、3日からの関連行事から出席した。
- ・今回はGETSパート1であり、次回GETSパート2を経て、来年1月にある国際協議会に臨むことになる。
- ・GETS1日目は全体会議、国内34地区から34名のガバナーエレクトとパートナー 30名が研修生として、講師陣が国内のパストガバナーの地域リーダー約60人、国際ロータリー日本事務局スタッフ15人の出席、合計約140名で研修会が開催された。佐藤RI理事の歓迎挨拶と国際ロータリーの現況報告、三木ロータリー財団管理委員の財団現況報告の後に菅原GETSチームリーダーの基調講演「変革と成長のリーダーシップ」があり、続いて米山記念奨学会などの諸報告が行われた。午後からは双方向型のファシリテーション形式でセッションが3本あり、テーマは「クラブへの働きかけ」「地区のモチベーションを引き出す」「地域リーダーとの連携・規定審議会」についてであった。
- ・次年度地区活動計画に反映したい2つの項目がある。一つは、吉田年度のロータリークラブセントラル活用を通してロータリー賞の受賞の取り組みは、クラブの活性化を図る事が目的なので継続していきたい。二つ目は、女兒のエンパワーメントの向上に関する事を3大研修等のテーマに取り上げたい。

- ・GETS2日目は「クラブの支援と新クラブの結成」「ロータリーのブランドとストーリーを広める」「ロータリー財団の支援と活用」の3つのセッションがあった。午後からの全体会議では服部陽子GETS研修リーダーによる「ガバナー就任までの研修カリキュラム」の説明とガバナーエレクトとそのパートナーに対する心構えについての重ね重ねの要請があった。

(2) 3大研修含む5大会議等について

- ・9月16日に2024-25年度ガバナー補佐懇談会を開催する。顔合わせが主な目的で、信頼できる関係づくりのスタートとしたい。
- ・2024-25年度ガバナー補佐会議を11月25日に八仙閣において開催する。小郡ロータリークラブ案のプログラム案を9月8日の地区ラーニング委員会にて承認いただいた。
- ・国際協議会を時間軸として中心に置いた2024-25年度の地区活動計画を具体化していく予定である。
- ・西島直前ガバナーからのご指導により、ガバナー年度の月信記事を書き溜めている。クラブ内で月信の表紙についても検討を行っている。

5. 濱野ガバナーノミニー報告

————— 濱野ガバナーエレクト

(1) クラブにおける活動

- ・地区幹事会において2025-26地区幹事予定者への情報提供を受けている。
- ・ガバナーノミニー月報をクラブ内にて発信するための準備を始めたところである。

(2) 2025-26年度RI会長について

- ・サントアンドレ・ロータリークラブ(ブラジル、サンパウロ)会員のマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏に決定した。
- ・「トップダウンでロータリーの公共イメージを強化したい」とのメッセージが出されており、140万人のボランティアの存在をアピールしていくことが記されている。この点については、当地区においても準備を進めていきたいと考えている。

(3) その他

- ・安増パストガバナーがRIJYEM理事に就任されたとの報告があったが、2025-26年度RIJYEM全国大会を当地区で開催する可能性が高いとの報告を受けている。

(4) 質疑応答

① 2025-26年度RI会長のメッセージについて

——— 瀬谷パストガバナー

- RIのトップダウン、上意下達方式は最近目に余るものがある。
- 決議23-34第3項には、国際ロータリーの役割が明示しており、ロータリーの情報の集積所となっている。いわば、ロータリーの活動の標準化であり、会員ありき、クラブありきの原点を疎かにするとRI理事会の言うがままになることを危惧している。

——— 濱野ガバナーノミニ

- ありがたいご意見であり、同様の違和感があった。意見をするには、このことについて知識を持っていないと対応できないため、学ぶ期間であると考えている。RIの動向に十分に注意しながら、当地区は発信力のある地区と捉えて準備をするためにも報告した。引き続き、ご指導いただきたい。

② グローバルなロータリーについて

——— 穴井パストガバナー

- モットーは「奉仕第一、自己第二」であり、RI会長はそれに沿う方が就任する。日本の国民性に合いにくい、グローバルなロータリーとのギャップがある。ガバナーは、その点を勘案してリーダーシップを発揮されると良いのではないかと。

③ 最近の国際ロータリーについて

——— 廣畑パストガバナー

- ポールハリスの回顧録には、ロータリーとは民主的な組織であって独裁者によりコントロールするものではないとある。
- 最近のRIはトップダウンの傾向の影響からか、アメリカのロータリークラブは壊滅的な状況である。ボストンロータリークラブは400名から13名へと会員減少、ポールハリスがつくったシカゴロータリークラブは800～900名の会員が、現在では100名～150名となっている。福岡西ロータリークラブの姉妹クラブであるオークランドイーストロータリークラブは消滅してしまった。
- 以前にラダクルRI会長がボトムアップとメッセージを発信され、多くの共感があった。
- トップダウンで独裁的な組織となってしまうとロータリーの崩壊を招くと危惧する。

——— 吉田ガバナー

「公共イメージ」という言葉はブランディング重視であり、それは陰徳と矛盾するとの反発も根強い。整合性のとれない考え方ではないが、丁寧な配慮を要するタームだと考えている。「トップダウン」という言葉が、どのような文脈で発信されているのかを確認しなければならないが、RI会長ノミニはブラジル・サンパウロ州が出身国ということもあり、国民性の影響など注視をしていく必要がある。一方、日本のロータリーの興味関心は、SRF（ロータリー未来形成）が迷走していて、今後の方向性が定まりきらない現状を踏まえ（なお、「SRF」という用語は現にない）、SRFに示されていた基軸になる考え方（「地域化」）において、RIでの日本のロータリーの存在感を異なる形でアピールしようという点に問題関心が集中しつつあるように思われる。単純に「トップダウン」という言葉のイメージだけに囚われてしまうと、評価を誤る危険がある。多様なモザイクの意見があることを知っておくべきである。伝統的なロータリーの価値観は尊重するに値する。しかし、そこに閉じこもってしまうとロータリーは力を失っていくため注意をしながら車の両輪のように回していくことを心掛けるべきではないか。この点は、クラブへのメッセージとして特に注意しながら発信している。こうした方針は、野崎ガバナーエレクトと濱野ガバナーノミニにもしっかりと受け継いでいただきたいと望んでいる。

6. 地区大会分担金について

——— 穴井パストガバナー

博多ロータリークラブ会長から、地区大会等分担金について質問を受けている。瀬谷ガバナー年度から地区大会分担金が暫定的に一人当たり10,000円と決められたが、その金額の妥当性については今後検討するとなっていた。その経緯と現状についての確認をしたい。

——— 瀬谷パストガバナー

(1) 経緯説明と現状報告

- 当時、長期計画委員会の富田委員長へ安増パストガバナーから提案があったのが発端である。
- 地区大会の運営を見直すにあたって、都度の登録料徴収は不公平感やキャラバンによる宣伝活動の負担などから一律登録制へ変更してはどうかというものであった。
- 一律10,000円の根拠は、当時会員数約3,200名で各クラブから一律5,000円を義務的に負担して

おり、1,600万円の収入があった。都度の登録者からの登録料5,000円を合わせて、3,000万円から3,100万円となっていた地区大会収入の実績に基づくものである。

- 当時の登録における課題は、会員数の少ないクラブの登録率が高く、会員の多いクラブの登録率が低い点であった。そもそも地区大会は地区の公式行事であるため、会員ごとの参加の意思に関わらず一律の協力をいただくのが本筋であろうと長期計画委員会の見解がまとまった。
- ただし、過年の地区大会決算はいわゆる自己監査で行われていたため、正式なエビデンスはなかった。
- 暫定として金額10,000円とすることが、富田長期計画委員長から書面で各クラブへ発信された。
- ローターリー章典に基づいた手続規程に基づき、地区研修・協議会の会長部門の会議において3/4以上の承認が必要であり、前年12月よりガバナーエレクトと長期計画委員長連名で3回ほど各クラブへ説明文書を発信し、2月のガバナー諮問委員会とPETSで説明を行った。
- 地区研修・協議会の会長部門会において、監査方法を改善することと暫定金額については将来見直しを検討することを約束した。
- その直後に新型コロナウイルス感染症により、瀬谷ガバナー年度地区大会は中止となり、それ以降の地区大会も変則的な開催となってしまった。
- 貫ガバナー年度において、地区大会分担金の使途を、それまで参加者の登録料負担により運営されていた3大研修と2つの会議、いわゆる5大会議にも割り振るとの変更がなされたが、その際にもPETS等において決議をとりオンライズされている。
- 地区大会を一定の金額内で行うのか、プログラムを決めて予算を組むのかは、継続的な問題である。
- 吉田ガバナー年度は、コロナ禍明けに初めて実施する本格的な地区大会となり、ようやく地区大会等分担金の額が妥当かどうかの実質的な検証が可能となるのではないだろうか。
- これまでの手続には瑕疵はなく、これまでの支出入に関する会計書類も整っている。
- 決算書、会計帳簿はガバナー事務所に保管されているため、閲覧可能である。

(2) 西島ガバナー年度会計報告における補足説明

瀬谷パストガバナー

地区大会等分担金10,000円は次のとおり有効に使用されているものと考えられる。

① 地区大会等分担金特別会計

- 地区大会等分担金30,940,000円はじめ収入合計は37,385,064円であった。
- 支出の部は36,826,203円で、収支差額は558,861円で単年度収支として適正範囲と考えられる。

② 一般会計

- 収入の部に地区大会余剰金繰入（貫ガバナー年度地区大会余剰金）として4,186,806円があり、当年収支差額5,840,705円の決算となっている。
- 地区大会余剰金繰入（貫ガバナー年度地区大会余剰金）を除く純粋な単年度決算としては、1,623,899円の収支差額である。
- 吉田ガバナー年度は地区大会余剰金繰入（西島ガバナー年度地区大会余剰金）として558,861円と余剰額が少ないため、赤字決算となる可能性がある。

7. 各カウンセラー報告

(1) ローターリー財団部門

貫パストガバナー

- 9月9日にロータリー財団補助金セミナーを開催した。
- 吉田ガバナー、ガバナーエレクト、ガバナーノミニーはじめ会長エレクト、次年度幹事など120名出席された。
- 中村委員長より地区の補助金26件が承認され7万3千ドル活用とロータリー財団奨学生2名等の委員会報告があった。
- 補助金活用事例3件の報告があった。
- DDFの概要・利用法の案内があった。
- ローターリーカード、ポリオプラスサイエティについて、ポールハリスサイエティ登録についての案内があった。
- 第2740地区パストガバナーであり第3地域ロータリー財団コーディネーター補佐駒井様（佐賀南ロータリークラブ）から講評として、当地区の補助金活動は熱心に取り組んでいるとの評価とロータリー研究会での発表を検討してはどうかのお話をいただいた。また、寄付金ゼロクラブを失くすため絶対に該当クラブを出さないようにとの依頼があった。

- 当地区の昨年度クラブごとの年間寄付額実績と2022-23年度6月末地区別寄付報告がなされた。
- 当地区は補助金活用においては積極的に取り組んでいるが、寄付については全国レベルに比べ低いため、工夫をしながら取り組んでいく必要がある。

(2) 奉仕プロジェクト部門

—————穴井カウンセラー

小山田パストガバナーと2名体制でカウンセラーを務めており、現況の報告がなされた。

① 社会奉仕委員会

熊手委員長のもと、環境をテーマとした「豊かな自然プロジェクト」を提唱し、各クラブへ補助金10万円支援するとして募っている。現在、ロータリー財団委員会の審査を経て3クラブへの補助金支給を終了している。ロータリー財団委員会審査中が5クラブ、申請見積み待ちが2クラブである。また、クラブ社会奉仕委員長向けの会議を9月と11月に開催予定で日程調整中である。

② 職業奉仕委員会

神尾委員長のもと、9月15日に第1回委員会予定である。各地区委員が卓話できるようにプレゼンテーション資料などを共有して活動したいとのことである。

③ 国際奉仕委員会

白川委員長のもと、第1回委員会開催された。第1グループから第7グループまで日程を決め、ガバナー補佐と各クラブから2名が出席し委員会と懇親会を開催していく予定である。

8. 災害支援金報告

—————大神地区幹事

8月10日に義援金依頼を各クラブへ案内し、2,069,775円の義援金が集まった。第2540地区(秋田県)と第2700地区内の被災市町村へ県を通じて義援金を贈ることが報告された。



米山記念奨学生紹介



九州工業大学
情報創成工学学科
修士2年生

世話クラブ：飯塚RC
カウンセラー：正田英樹

トウ シュウゲン
冬 舒元 (中国)

病気を診断するための顕微鏡に関する 画像処理の研究を行っています

九州工業大学情報工学府修2年生の冬舒元と申します。出身は中国黒竜江省、日本に留学して4年目になります。九州工業大学に入学する前は、東京の語学学校に1年間通いました。2023年4月から奨学生になりまして、飯塚ロータリークラブでお世話になっております。現在は病気を診断するための顕微鏡に関する画像処理の研究を行っています。

子供の頃に何度も日本に旅行し、日本の文化や生活環境に魅了されました。

一方、日本には、製造業や医療機器などの分野で多大な貢献を果たし、世界に名だたる企業が数多く存在します。大学でコンピュータサイエンスを専攻しており、関連する分野に進み、高度な知識を学びたいと考えていました。そこで私は日本への留学を選択しました。そこで、顕微鏡画像の解像度を向上させるための画像処理の研究を行うために、現在の研究室を選びました。これからも学びと研究を続けることで、医療機器の分野に少しでも貢献していきたいと思っています。



研究以外にも、キャンパス内の国際交流ホールで高校生や大学生の英語の宿題や英会話のお手伝いをするなど、さまざまな活動にも積極的に参加しています。中国語教室の教師も務め、中国語に興味のある日本人に中国文化や中国語を教えました。本当の意味での文化交流が期待されます。

この度、米山ロータリークラブの奨学生となり、カウンセラーを始め、世話クラブの皆様大変お世話になっており、とても感謝しております。クラブの皆様とのご縁を大切に思っています。真に日本社会に溶け込み、現地の日本人エリートたちとコミュニケーションをとる機会を与えてくれました。これは私にとって非常に貴重な人生経験であります。

カウンセラーは私に多くの新しいことを経験させ、視野を広げ、励ましと評価を与えてくれて、家族のように感じさせました。このご縁と機会を大切に、研究・研鑽に励み、社会に貢献していきたいと考えております。

最後に、ロータリークラブのつながりを通じて日中友好に貢献できるよう尽力してまいりたいと思っております。





九州大学
医学専攻学科
医専課程3年生

世話クラブ：久留米東RC
カウンセラー：森山佳治

ジュ ジミン
徐 梓茗 (中国)

加齢黄斑変性に関して 研究しております

九州大学医学系学府博士課程3年の徐梓茗と申します。出身は中国遼寧省、日本に留学して1年目になります。2023年4月から奨学生になりまして、久留米東ロータリークラブでお世話になっております。現在では加齢黄斑変性に関して研究しております。

私の出身校は中国医科大学です。大学7年一貫制の臨床医学を専攻しました。学校の制度により、本校の7年一貫制を在籍している学生のみ修士入学試験なしで5年生の時に、続いて大学7年一貫制か、大学5年+大学院3年を選べることができます。大学院の時に同じ病院で国家入院医師標準化研修をしました。その後、各診療科で研修シテストを受けました。卒業前に医師資格証と医師免許証を取得しました。

日本の総合医療レベルは世界一で、特にがんの低侵襲治療、重粒子線治療など先進的な国です。日本の科学者は以前にも何度もノーベル賞を受賞しました。科



学研究でも臨床でも、日本の学生はより高度な医療技術や理念に触れることができ、視野を広げることができます。また、大学院の先生は慶應義塾大学に留学したことがあります。日本文化と教育の影響を深く受けて、優れた医療技術、高貴な医療論理を持つ人です。先生は日本の医療体制と医療教育に対して高く評価しており、日本は欧米諸国と異なり、学生の実際の能力をもっと重視しています。私は日本での医療教育や実践の機会を望み日本へ留学することを決めました。

ロータリー奨学会の一員になれることをうれしく思います。私の面倒を見てくださって、本当にありがとうございます。また、将来にわたってロータリアンの皆様と交流を深め、奉仕の心を持って、社会に貢献できるように努力しようと思います。最後に、小医の日本での留学経験とその知見が、中国と日本の友好促進に少しでも寄与することを願っております。





言語教育を専攻しています

中国出身の郭サイです。2700地区米山ロータリー奨学生で、糸島ロータリークラブにお世話になっています。今は九州大学大学院博士後期課程の2年生で、言語教育を専攻しています。

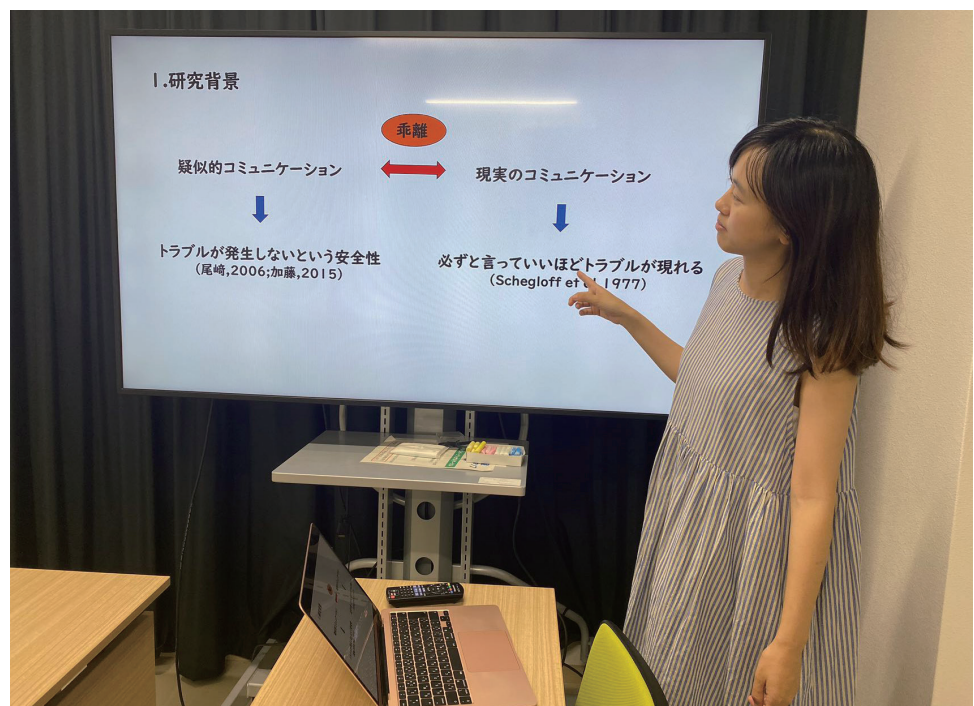
日本に留学する前に、わたしは中国の大学(地方の田舎の大学ですが)で日本語教師として10年余り働いてきました。地方大学の日本語学習者のほとんどはゼロからのスタートで、日本語の学習は五十音図の勉強から始まります。最初はひらがな、カタカナも読めない学生たちが徐々に短い文が言えるようになり、そして4年間かけて最終的には日本語で卒論が書けるようになる、そう成長していく学生の姿にやりがいや喜びを感じています。

しかし、勤務年数を重ねるにつれて、語学教師という仕事は現場で培ってきた感覚的な経験はもちろん大事ですが、経験だけで支えられている自分の教え方に限界を感じるようになり、自分にもっと磨きをかけなければと、博士後期課程への進学を決意しました。そして、念願が叶い、今は九州大学の先生方のご指導のもとで、専門知識を学びながら、働いていた頃感じた現場の問題点をテーマに、楽しく研究に取り組んでいます。

今年の4月から、幸運にも米山ロータリー奨学生に採用していただきました。日本にしながら、大学やバイト先の日本しか知らない留学生は少なからずにいると思いますが、米山奨学生となり、月一回の例会や地区活動などの参加を通じて、いろいろな面から日本を感じることができたことに大変嬉しく感じています。

この場を借りて、このような、日本のことを知り、そして日本に自分のことを知ってもらうコミュニケーションの場を作ってくださったロータリー米山奨学会に深く感謝の意を表したいと思います。

また、このように、日本に身を置き、いろいろな方と交流しながら、肌で感じた日本を中国国内の日本語学習者だけではなく、地域の人々にも発信できればと思っています。





九州大学
地球社会統合科学学科
修士2年生

世話クラブ: 福岡東南RC
カウンセラー: 岡 弥生

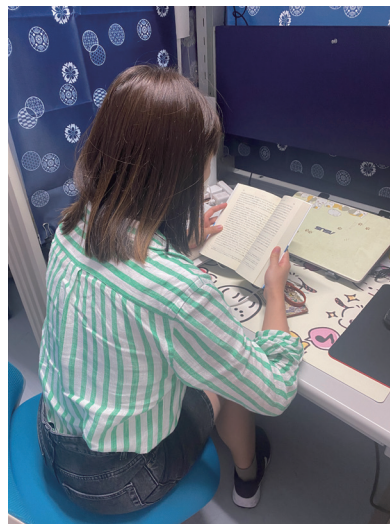
ソン エイエイ
孫 盈盈 (中国)

言語学を専攻として研究しています

皆様、こんにちは。米山ロータリー奨学金の孫盈盈(ソン エイエイ)と申します。私は中国上海の出身であり、現在は九州大学大学院で言語学を専攻として研究しています。

私は中学時代から、日本の文学作品と映画を見始めました。高校時代の夏休みに二回日本へ旅行にきました。日本の美しい自然風景と文化に心が惹かれた私は大学に入学した際に、日本語科に進学しました。学部時代の四年間、私はずっと真剣に日本語だけでなく、日本に関する全般的な知識を学んできました。また、私は大学三年生の夏休みに、日系企業で三か月のインターンシップをしました。日本人の同僚と交流しながら、私は母語と外国語の差異が興味深く、研究する価値があると痛感しました。その後、日本への留学計画を立てました。

修士在学中、私は言語学の研究を行い、今は中国語における再帰代名詞についての論文を書いています。



最初はオンライン授業でしたが、去年の七月にようやく日本にきました。この一年間で学校の勉強を通じて、日本語が以前より上達しただけでなく、知識の量も顕著に増えました。また、課外時間を利用して、さまざまなところへ旅行に行きました。北海道の雪のような日本の素敵な風致を満喫し、金閣寺を始めとして日本の歴史名所を鑑賞しました。

将来の希望として、日本で博士号を取得し、中国に戻り大学で日本語を教える先生になることを目指しています。それと同時に、中日の架け橋になり、世界の平和にできるだけ力を入れたいと思っています。

今年はロータリーの奨学生になって、優秀な奨学生とコミュニケーションコースし、また、毎月の例会でカウンセラーと交流して、ゲストの卓話を聞いて、いろいろ勉強になりました。今後もこのチャンスを利用して、自分をより磨きたいと思います。



ガバナー公式訪問ご報告

博多RC

10月3日(火)

10月3日、博多ロータリークラブの公式訪問に随行致しました。

昭和55年に福岡西ロータリークラブをスポンサーとして設立され、本年設立43年を迎えられるそうです。

会員数は58名、藤井太一会長の運営方針である「①仲間を思いやろう！②できる範囲で頑張ろう！③社員や家族に感謝しよう。」の3つが推進されています。穴井パストガバナーにもご臨席いただき、思いやりにあふれた暖かい雰囲気で大歓迎をいただきました。

また、藤井会長、池田幹事により、既成概念にとらわれない大胆な改革のもとにクラブ運営がなされており、特にメークアップの機会を増やし、会員の出席率が向上する取り組みをなさっていることは印象的でした。

重点目標の一つに「同好会、テーブル会を大切に」を挙げられ、同好会の一つである「博多麺ゆう会」では、主に蕎麦好きのメンバーが集まって、月に1回程度、福岡市内の「麺」のお店で食事会を行っているそうです。博多RCのOBの皆さんの参加もあるとのこと、会員同士の親交を深める場としてとても大切にされているとのことでした。なお、「麺」と聞きますと「お蕎麦」を

思い浮かべ、蕎麦&日本酒好きの吉田ガバナーも興味津々のようでしたが、今は蕎麦だけではなく、バリエーションを広げパスタ&ワインの回もあるとのことでした。

そして、さすが「博多」ロータリークラブ、クラブ名のとおり、「博多伝統手職人連盟委員会」との独自の委員会をお持ちであり、同委員会によって、博多の伝統ある技術を絶やさないための交流や支援に努めておられるとのこと。強く応援したい取り組みであり、頑張っていたきたいと思います。

公式訪問のおみやげには、吉田ガバナーを始め随行者全員に大変見事な博多の工芸品をいただきました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

大神 朋子(福岡東RC)



行橋RC・行橋みやこRC

10月4日(水)

行橋RC

会員60名(衛星RC含む)、行橋市及び京都郡内を当該区域とし1963年10月18日に中津ロータリークラブをスポンサークラブとして設立され、本年度60周年を迎えられます。

1971年から続くインバウンド・アウトバウンドの学生支援となる青少年交換事業では素晴らしい青春の思い出となる様にと皆で取り組まれています。

また社会奉仕として「花壇整備」「海岸清掃」「24時間チャリティー」などを行われています。

「一人一人の絆を大切に、進化を続けよう」のスローガンのもとロータリアンとしての自覚・プライドを持ち一人一人の絆を大切にクラブ全員で進化を続けられています。

行橋みやこRC

会員65名、行橋市及びその周辺地域を当該区域とし1984年4月3日に行橋ロータリークラブをスポンサークラブとして設立されました。

クラブの特徴として若いロータリアンが多い、委員会の数が多い、会員同士で親睦を深めているといったことが挙げられます。

本年度は創立40周年を迎える大事な時期であり「会員が一丸となって手を取り合って未来へ繋げて行こう!」のスローガンのもとクラブの発展と50周年とさらに続けていけるようなクラブを目指されています。

永島 藤吾(福岡東RC)



苅田RC

10月5日(木)

10月5日、苅田ロータリークラブの公式訪問に随行致しました。

北九州空港そばのブルーポートホテルが例会場であり、秋晴れの爽やかな空気の中、高城会長をはじめとした会員の皆さんにお出迎えいただきました。

会員全員が揃いのブレザー(男性はネイビー、女性はグレイ)を揃えておられるとのこと、着用された皆さんが並んで例会場入り口でお出迎えをいただく様は圧巻でした。

また、月に一回全員と握手をする慣例だそうで、現在はコロナ禍後のため「グータッチ」に変更されていましたが、青少年交換留学生も含めて皆さんが席を移動して回り、我々も多くの会員さんとグータッチをさせていただきました。初対面同士でも一気に距離が縮まる瞬間であり、弾む思いでいっぱいになりました。この他にも、例会において、会員相互の気持ちをつなぎロータリーに親しむようになる工夫が随所になされており、大変勉強になりました。

鈴木会員増強委員長を始め数名の地区委員を派遣していただいております、地区運営に大変貢献いただいているクラブであり、感謝申し上げます。

そして、地域活動にも積極的に加わっておられる印象を受けました。地元の商工会での交流がロータリーへの参加へ繋がっており、会員同士の結びつきが自然と地域への貢献へ直結しているとのことでした。地区補助金を活用した防犯カメラ設置、登山道の案内看板設置、読み聞かせ団体への絵本寄贈等、身近でかつ必要な奉仕活動を多数行っておられ、素晴らしいと思いました。

なお、提唱されてる苅田工業高校インターアクトクラブは次年度の年次大会のホスト校だそうです。会員がコロナ禍で減ったことを案じておられましたが、苅田ロータリークラブが地域において果たされている奉仕活動は、必ずやインターアクトの会員を呼び戻すことになることと思います。

大神 朋子(福岡東RC)



門司RC

門司ロータリークラブは、2024年に創立90周年を迎える老舗クラブです。創立時の会長は出光佐三氏で、スポンサークラブに大阪RCと福岡RCの両クラブの名が連なっています。

青少年奉仕及び社会奉仕活動に熱心に取り組んでおられ、市内中学生を対象にしたバレーボール大会を支援しています。また、豊かな自然プロジェクト補助金を活用し、会員の手で収穫したサツマイモを使っての芋焼酎作りにチャレンジしておられ、本プロジェクトを「地芋プロジェクト」と命名し(門司をもじって、^{しいも}地芋)、地域振興に大きく寄与してまいります。

クラブ内ではCLPを活用し、若い会員を委員長に配属することによって、新たな取り組みも沢山うまれているそうです。

田村 志朗(福岡東RC)



門司RC 橋口会長



門司西RC 井上会長



門司西RC

日時／2023年10月10日(火) 11:05～

場所／プレミアホテル門司港

[クラブ概要]

クラブ創立年月日／1971年10月5日

スポンサークラブ名／門司ロータリークラブ

会長名／井上 睦啓

幹事名／江本 佳勝

会員数／38名(8月末現在)

クラブ運営に関して

- ・高年齢者の退会により会員数は減少の傾向にあるが、若年者の入会が増え、積極的に声かけを行っています。
- ・青少年奉仕に関してはRC、RAC、IAC3世代合同で門司駅前清掃、社会奉仕委員会と共同で地域団体も含め行う清掃ウォーキングが定例化しています。
- ・社会奉仕活動として関門花火大会において児童養護施設の子供達と一緒にボランティア活動を行っています。

ます。募金活動を子ども自らがいき、お盆に帰省できない子どもの思い出作りに役立っています。

クラブの問題点・悩み

- ・会員増強に課題。会員「増」も大切にし「強」に力を入れています。入会3年目くらいまでに退会者がでています。新たに入会した会員に対してはひと工夫し、会員に合ったフォローをしています。
- ・出席率が過去一年平均77.13%と課題となっている為、オンライン例会を取り入れたたり、同好会を格上げすることによってメンバーシップとし、出席率を上げています。

吉田知弘ガバナーより

ロータリー財団地区補助金事業や社会奉仕活動など、地域の中にとけこむ活動はロータリーの顔が見える活動なので大変素晴らしいです。

宮本 由希(福岡東RC)

鳥栖RC

10月18日(水)

10月18日、鳥栖RCガバナー公式訪問へ随行いたしました。

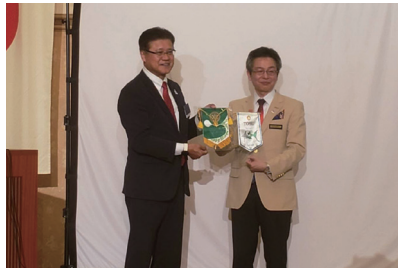
会員53名(うち女性会員2名)、来期50周年を迎える伝統クラブです。人口が急激に増えているエリアであり、一方で物流倉庫など法人本社があまり多くない地域になります。

昨年から退会者が増え、会員増強に苦勞されている

とのお話から、増強に向けたクラブ内改革、青年会議所との連携についてお話がありました。伝統的に青少年交換に積極的なクラブであり、大島地区委員長を中心とした特色あるクラブであると感じました。

会員平均年齢が59歳と比較的若く、活気があり、また会員間の仲の良さが伝わってくる例会でした。

矢野 亮介(福岡東RC)



豊前RC・豊前西RC

10月19日(木)

10月19日、豊前ロータリークラブと豊前西ロータリークラブの合同の公式訪問に随行致しました。

豊前ロータリークラブは吉田年度第1グループガバナー補佐である大江さんのホームクラブです。本年度は、クラブの最年少コンビである藤本史郎会長と西村幸太郎幹事を務めておられます。お二人のご年齢はもちろんお若いのですが、コロナ明けの今「今一度!!素敵なロータリーライフを!!」とのテーマと会場の雰囲気、弾むような活気を感じました。目を見張るようなプロフェッショナルな指揮(音大卒とのことでした、宮脇さん)で歌うロータリーソングも格別でした。かねてより、クラブのFacebookでも、皆さんで楽しそうに演奏されている姿を拝見しておりましたので、全員がミュージシャンのように思えました。来年2月のIMでお会いすることがとても楽しみです。

そして、2700地区の会長としては最高齢の92歳でいらっっしゃいます豊前西ロータリークラブの野村一

成会長のテーマは「山椒は小粒でもびりりと辛い」であり、同クラブの会員おひとりおひとりのロータリアンとしての気概を表す力強いテーマだと感じました。同クラブは8名の会員数だったところ、オープンロータリーを実施されるなどして、10月に一名の増強を果たされ9名となったそうです。そして、「まだまだ増強の秘策はあるんです」とのニッコリと微笑まれる会員増強委員長の野崎さんの表情に、吉田ガバナーも含め思わず大安心し、今後も地区として最大限の支援を行っていききたいと思った次第です。また、同クラブからは、今年度に発行した全ての週報をいただき、しっかりとした活動のご様子を拝見することができました。おそらく毎回出席会員全員がニコニコしておられるようで、その際のご発言がすべて掲載されており、楽しく読ませていただきました。

皆さんの歓待に感謝致します。

大神 朋子(福岡東RC)



豊前RC

豊前西RC

八幡西RC

会員／49名(うち女性会員0名)

創立56年を迎える歴史あるクラブです。

バブル期は一時89名まで会員が増加するも、ここ5年間は、横ばいしています。

退会者が5年間で18名にのぼったものの、ほぼ同数の入会者がいる。平均年齢が60歳を切っているとのことで、例会でも若い会員も多くみられた。

平均出席率が92%と非常に高く、仲のいいクラブであると会長幹事も仰っておられました。

10月20日(金)

グローバル補助金を活用し、タイで水の浄化設備を設置するなど、財団の活用も進んでいるクラブであるという印象を受けました。

矢野 亮介(福岡東RC)



直方中央RC

10月23日、直方中央ロータリークラブの公式訪問に随行致しました。

直方の商工会議所ビルにおいて例会が開催されています。同会議所ビルの前にはロータリーの石碑が設けられており、懇談会の会場には、歴代の商工会議所会頭の方々の写真が掲げられており、身が引き締まる思いがしました。

伝統ある同クラブですが、今年度会長である平嶋守会長がマスク越しに見せられる和らかな笑顔は、同会長が掲げられた「みんなの心地良さをデザイン」とのテーマそのままであり、休場明幹事とのしっかりとしたチームワークによりクラブを盛り上げておられるご様子でした。

例会が開始されるまでは静かにJAZZが流れたり、途中の休憩時間にはお菓子が配られたり、会員が思い出とともに紹介する曲を聴いたり、リラックスしたムードでの例会進行が印象的でした。

クラブの活動の中で、特に素晴らしいと思いました

10月23日(月)

のは、「クラブの長期計画(5か年計画)」策定されていることです。直方中央RCの未来像として、①クラブ運営、②会員基盤向上、③広報公共イメージ、④奉仕プロジェクト、⑤財団米山との各項目について5か年かけた目標を掲げ、皆で共有されていました。2022～2023年度が初年度であり、年度ごとに検証していくのだそうです。

クラブ独自の社会奉仕事業として「みんなの無料相談」という活動も面白いと思いました。土業ではよく行う活動ですが、会員の関係者で、例えば僧侶の方等もご相談に乗られているようで、好評とのことでした。財団補助金事業では、ぼっちゃ大会を開催したり、イルミネーションを設置したり、地域に根づいた活動を数多くされているようでした。

会員同士の仲の良さがフットワークの良さに繋がっている生き生きとしたクラブだと思いました。ご歓待に感謝致します。

大神 朋子(福岡東RC)



彦岐RC・彦岐中央RC

10月24日(火)

彦岐RC

彦岐ロータリークラブは、会員数40名(女性会員は2名)を有し、2700地区の中で21番目に創立されました。今年度で57期目を迎えるとのことで、今期のメッセージは「一步を踏み出そう 希望の道へ」と位置づけており、例会を通じて高まった奉仕の心を胸に、各家庭、職場、そして地域社会において奉仕活動を展開してまいります。

社会奉仕活動にも熱心に取り組んでおられ、小学生駅伝大会、早朝清掃、高校生の職場体験事業など、地域貢献事業として長年実施しています。

さらに、福岡城東RCとの姉妹提携を結び、毎年合同の例会を開催しています。彦岐中央RCとも協力し、合同の社会奉仕活動やインターアクトを通じた青少年の

育成活動を行っており、彦岐全体の地域社会の発展に寄与しています。

田村 志朗(福岡東RC)

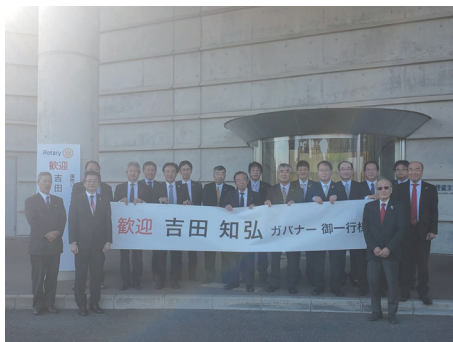
彦岐中央RC

福田浩之会長のもと「みんなで参加して、みんなで楽しもう」を今年度のテーマとして活動しております。

クラブ創立は、1976年3月18日と創立47年を経過し、会員数は現在25名となっております。うち女性会員は今年度1名、7月に入会されております。

例会は毎週木曜日18時半から19時半と夜間の開催となっております、会長の今年度運営方針のもと85%と高い出席率において楽しい例会を行っています。

青屋 信作(福岡東RC)



彦岐RC



彦岐中央RC

創立年月日／1957年7月11日

スポンサークラブ名／福岡ロータリークラブ

会長名／藤永勝巳 幹事名／藤田和孝

会員数／34名(9月末現在)

1. クラブの概要

第2700地区に10番目にできたクラブであり、歴史とロータリーについて思考や向き合い方を多くの先輩方から感じる事ができました。(古い事をよく知っている)

平均年齢は60歳であり平均在籍は14年、女性会員は4名です。

2. クラブの特徴(長所)

活動的なクラブで、奉仕活動について会員の積極的参加を始め、クラブ炉辺会(年6回)等での交流、他事業への出席率が高く、低出席率の会員はほぼいないそうです。

3. クラブの今後の取り組み

ロータリー全体の活動方針でもクラブの主体を重んずる傾向があるため、新たな取り組みやアイデアを活用する方策について取りくんでいく必要があると考えているそうです。

委員会活動についても、ロータリーや奉仕活動の原点がズレていかないように「事業をしなければならない」ではなく「したくなる」構図を会合で築く必要があると考えられておりました。

4. 米山記念奨学生

米山記念奨学生の受け入れをしており、これからカウンセラーを増やしていくそうです。



5. 出席率

2022～2023年度84.39%と素晴らしい数字で、会長の時間は会員の勉強になるような話をするように心がけているそうです。また、服装のハードルを下げているので、工業地帯であるために昼休みに来て再び工場に戻って仕事に従事できるように作業着での参加を容認しているそうです。

6. 寄付について

寄付者割合を増やしていくように努められております。ニコニコ箱の5%を財団に、5%を米山に入れてカウントされるようにしていて、他クラブの寄付率の状況を見て自クラブの立ち位置を確認しているそうです。

7. 同行時の感想

会長の藤永さんは若く勉強熱心で行動力があり、「昔、炭鉱で大いに栄えた街は過去の姿、今は衰退していく街を直方ロータリークラブの会員を増強し温かく迎え入れ、活動を通じて良き仲間を得ることにより仕事にも励みを与えて、それぞれが夢を持つことにより街は活気にあふれる」という力強い信念のもと栄光をよみがえらせると熱く語っておられました。

吉田ガバナーの話に出席者全員が食い入るように聞き入っていたのが非常に印象に残っています。

ロータリーの決まり文句ではなく、クラブが地域に根ざし地域を活性化していくためには会員それぞれがロータリーをどうとらえ、それを活動に生かしていくことを鋭い切り口でよどみなく話される吉田ガバナーの話は、同行者の私もぐいぐいと引き込まれていく非常に貴重な体験でした。大きな効果があったのではないかと確信できます。

同じクラブの会員としてこのような素晴らしいガバナーを輩出できたことを誇りに思える一日でした。また、出迎えや最後の見送り

などガバナーに対する礼節は見習うべきところがたくさんありました。

ロータリアンでなくとも礼節を守ることは人としての基本である事を改めて認識させられた公式訪問でした。

浦江 卓司(福岡東RC)



福岡中央RC

10月30日(月)

福岡中央ロータリークラブは1977年に設立され、現在の会員数52名(10月末)で、衛星クラブは福岡エンジンジョイロータリー衛星クラブ(10名)があります。

過去1年間の出席率は93%と立派な成績で、昨年は女性会員5名も入会され、今後も1～2名の女性会員が入会予定だそうです。女性会員や入会歴の浅い会員を委員長に任命したことで、明るく活気ある雰囲気が生まれているとのこと。

ジュニアバレーボール大会やジュニア美術展などの青少年奉仕活動にも長年に亘り取り組まれ、例会時には福岡県立図書館への点字ラベラーの贈呈式が行われるなど社会奉仕の精神を感じることができました。

例会に先立ち行われた怡土会長、竹崎第5グループガバナー補佐、中川議長(衛星クラブ)との懇談会では、女性会員や若年層の入会、週報のデジタル化、CLP長期計画委員会など熱心な意見交換が行われました。

怡土会長が掲げる「再び動かす我らの歴史」のもと、当クラブの躍動を体感できる貴重な公式訪問となりました。

毛利 定夫(福岡東RC)



クラブ紹介

第4グループ 太宰府RC 伝統と文化の町 メーカーへお越しく下さい

我がクラブは1977年5月11日に創立され、今年度で47年目になります。

現在の会員数は46名（内女性4名）で構成されています。会員の多くは旧筑紫郡（那珂川市、春日市、大野城市、太宰府市、筑紫野市）及びその周辺地域に住居又は職場があります。例会は火曜日12時30分開始で二日市温泉の大丸別荘で開催しています。

エリアの特徴は福岡市のベッドタウンとしての新しい顔と「大宰府政庁跡」や「水城の堤」等の史跡が多く、長い歴史のある地域という2つの顔があります。クラブの奉仕事業としては従来の奉仕活動に加えて、最近では地区の財団補助金を活用して主に社会奉仕や青少年奉仕分野の

支援事業を行っています。今年は「不登校生の学習支援及び家庭へのケア」に取り組めます。又、当エリアの特徴である伝統文化を生かして毎年3月に開催される「太宰府天満宮曲水の宴」に近隣クラブの留学生を招待しています。日本の伝統文化に触れてもらい、留学時の良い思い出を提供できればと思っています。

他クラブとの連携については小郡、鳥栖両クラブと毎年合同例会を開催して親睦を深めています。姉妹クラブは歴史の街繋がり奈良大宮ロータリークラブと結んでいます。

機会があれば、メーカーへお越しく下さい。歓迎いたします。



太宰府RC 2023-2024年度会長 影山 裕樹



ガバナー公式訪問



曲水の宴に留学生を招く会



R財団補助金事業知的障がい者音楽バンドビューアハート支援コンサート

第4グループ 福岡RC

九州におけるロータリークラブの発展の基

当クラブは、昭和8年に大阪ロータリークラブをスポンサークラブとして、九州で最初のロータリークラブとして創立され、前年度、創立90周年を迎えることが出来ました。

長い歴史の中で18のクラブのスポンサークラブとなり、九州におけるロータリークラブの発展の基となったと自負いたしております。

130名を超える会員の業種は多岐にわたりますが、転勤の多い大手企業の支店長さん達が会員の3分の1を占めることで、毎年多くの新しい出会いがあり、クラブの絶え間ない新陳代謝につながっています。

私達の活動の中で最も誇りをもって取り組んでおりますのは、「福岡ロータリークラブ奨学会」です。60年以上

に亘って、これまでに500人を超える高校生の就学の支援をしてまいりました。卒業生の皆さんは、社会人としてそれぞれの分野で主導的な立場を務められており、支援する私達にとって大きな励みとなっています。

【創立年月日】 1933年3月5日 【創立周年】 91周年

【スポンサークラブ】 大阪RC

【例会場・曜日】 毎週水曜日 12:30 ~
西鉄グランドホテル2階

【会員数】 135名(うち女性会員3名)

【会長】 武内英一郎 【幹事】 溝口 猛

【クラブテーマ】 継承



福岡RC 2023-2024年度会長 武内英一郎



(公財) 福岡RC 奨学会 奨学生卒業祝例会 (2023.3)



福岡RC 創立90周年記念例会 彬子女王殿下特別記念卓話 (2023.4)



福岡平成RC 2023-2024年度会長 山崎 英之

当クラブは、創立31周年を迎え、会員総数49名（うち女性会員12名）で、毎週月曜日にソラリア西鉄ホテルで例会を開催しています。

若々しく女性会員も多い、フレンドリーでアットホームなクラブです。ゴルフ、旅行、ダンス、カラオケ、登山等の趣味の活動が活発で、年齢や職業を問わず、自由に意見を交わす関係が醸成されています。

当クラブは、創立当初から青少年のための奉仕活動に力を入れており、国際青少年交換留学生は毎年派遣・受け入れを行い、米山奨学生も常時受け入れ、中村学園三陽高校のインターアクトクラブも支援しています。また、SOS子どもの村福岡を支援しており、昨年度はピラティスやじゃがいも作りを実施し、今年度は清掃登山を企画するなど、会員と子ども達の交流も行っています。更に、国内外の姉妹クラブ・友好クラブと活発に交流しています。

今年度は会員増強が功を奏しており、若手会も結成され、クラブが益々活気にあふれています。



台北艋舺RC訪問(2023.10.7)



吉田ガバナー公式訪問(2023.7.24)

第4グループ **福岡東RC** **継続と変革**



福岡東RC 2023-2024 年度会長 津曲幸二郎

- 【創立周年】53周年**
- 【会員数】75名(うち女性会員数15名)**
- 【例会】木曜日/12:30～13:30**
- 【場所】ホテル日航福岡**

1. **クラブの概要**
 1970年9月5日、末永ガバナー時、福岡RCがスポンサークラブとなり設立。
 2020年5月、当クラブがスポンサーとして、「福岡東令和あけぼのロータリー衛星クラブ」を設立。
 2022年6月、佐世保北RCと友好クラブ締結。
2. **クラブの特徴**
 最高齢90歳から最年少40歳の会員が和気藹々と「世のため 人のため」を目標に奉仕の心を学んでいます。女性会員が2割強を占め理事・委員長等として活躍、2人の女性会長も誕生、40代の新会員が多く、活気があります。釜山影島RCとは姉妹クラブとして、40年以上にわたり交流しています。インターアクトクラブ(中村学園)は委員会を中心に活発に活動しています。
3. **今年度は当クラブ所属の吉田ガバナー年度です**
 「継続と変革」を目指し、公式訪問及び地区大会を大成功していきます。その為に、クラブ創立53年の歴史と伝統、クラブ特有の女性の力、若手会員の力、先輩の経験と大局的思考を大事と捉えます。今こそ新しき人材を育て、新しい力すなわちニューパワーを糾合し、クラブを前進・発展させてまいります。



健康ウォーキング



姉妹クラブ釜山影島RCとの合同例会



ワイン会



地区補助金事業「移動式キッチンカーで子どもたちを笑顔にプロジェクト」



福岡城南RC 2023-2024年度
会長 今任智恵子

福岡城南RCは昭和54年4月4日創立、会員数53名（内女性会員10名）のクラブで、今期で創立45年目を迎えます。女性初の会長に今任会長が就任し、元気にクラブを引っ張っており、親睦活動や社会奉仕活動を活発に行なっております。

親睦活動では毎月、様々な懇親行事があるため会員間の仲が非常に良好なクラブです。親睦以外でもRYLAへの最多参加、米山奨学生の受入れ、オープン例会の実施等、クラブ外との接触活動も活発に行なっております。

近年では社会奉仕活動に力を入れ、会員間の仲の良さが活かされております。2022年からはフードバンクプロジェクトを立ち上げ、フードバンク福岡にて毎月1～2回、10名程度が参加して、フードドライブで集まった食料品の計量、仕分け、発送準備等を行なっております。また、クラブ内での募金と地区補助金を活用して、食料品、お米券、ガソリンカード、パソコン、整理棚等を寄贈しました。



受け取る人に思いを込めて作業する会員たち



福岡市環境フェスティバルにてフードドライブに参加



フードバンクにて率先して作業する今任会長

【投稿】門司西RC

ロータリー奉仕デー 3RC合同清掃

【参加クラブ】 第2700地区 門司RC／小倉西RC／門司西RC

【日時】 2023年10月14日(土) 7:30～8:00

【場所】 門司駅周辺

今期のロータリー奉仕デーは吉田ガバナーからは任意でやってくださいと言われ、我第2グループの中島ガバナー補佐から第2グループは駅前清掃をしようとイレブンの会で決定しました。

その時に門司RC、小倉西RC、門司西RCの会長3名で意気投合し、普段は門司港駅付近を清掃している門司RC、小倉駅付近を清掃している小倉西RC両会長と、中間の門司駅付近の清掃を3クラブ合同で行いました。

普段門司西RCと門司駅前清掃をやっている門司西RAC、敬愛高校IACにも声をかけ総勢56名の参加があり、2700地区からは田村志朗地区副幹事も応援に

来ていただきました。

地域住民からもお疲れ様やありがとうと声をかけられインパクトのある駅前清掃になり、3クラブの会員からもやってよかったという声が多く聞かれ、またこのような機会があると良いねと3クラブの会員の絆が生まれたロータリー奉仕デーの活動となりました。





ポールハリスソサエティ (PHS) の集い 開催のご案内



2024年

1月27日 (土) 17:00~19:30

会場／ホテル日航福岡 新館2階

福岡市博多区博多駅前2丁目18番25号

出席対象者／ポールハリスソサエティ (PHS) 会員

※PHS証 (徽章) を着用してご参加ください。

昨年に引き続き「ポール・ハリス・ソサエティ (PHS)」会員の皆様へロータリー財団へのご支援に感謝の意を申し上げ、懇親会、情報交換会並びに会員同志の親睦を目的に「ポール・ハリス・ソサエティ (PHS) の集い」を開催いたします。

今年度は九州4地区のPHS会員も参加しての開催となります。多くの皆様のご参加をお待ちしておりますのでよろしくお願い申し上げます。

国際ロータリー第2700地区ロータリー財団委員会

参加費／お一人 16,000円

(懇親会参加費の一部はポリオプラスへ寄付させていただきます。)

振込・申込締切日／2024年1月12日 (金)

※所属クラブを通じてお申し込みをお願いします。

ポール・ハリス・ソサエティ (PHS) とは

ポール・ハリス・ソサエティ (PHS) は、年次基金／ポリオプラス／ロータリー災害救援基金／承認された財団補助金へ一括もしくは合計で毎年1,000ドル以上をご支援くださる個人の認証です。ご寄付は補助金事業はじめ多くの人道支援プロジェクト等に使われます。

ポール・ハリス・ソサエティ (PHS) 入会方法

My ROTARYにログインし、画面上部タブの「My ROTARY」→「寄付者の認証」→「ポール・ハリス・ソサエティ・メンバー」の文末にある「詳細はこちらから」をクリックします。ページ下部にある「PHS入会フォーム」をクリックしますと、下記のフォームが表示されます。

※こちらの下記文字クリック からでも入力フォームに入れます。

PHS登録 入力フォーム

会員情報(地区番号・クラブ名・会員 ID)を入力いただきますと、お手続きをスムーズに進めることができます。

必要な情報

名

姓

Eメール

ロータリー会員情報

会員ID (分かる場合)

クラブ名

地区番号 (分かる場合)

あなたの声をお聞かせください

お差し支えなければ、ポール・ハリス・ソサエティ会員となってロータリーを支援しようと思われた理由をご記入ください。

ロータリーへの選理についての情報をご希望の方は、ここをクリックして印を付けてください。

ロータリーの定期寄付プログラムについての情報をご希望の方は、ここをクリックして印を付けてください。

SUBMIT

お名前は姓を分けてローマ字でご入力お願いいたします。
Eメールアドレスをご記載いただきますと、おって確認のメールが送られます。
(お名前・Eメールの箇所が空欄ですとお手続きができませんのでご注意ください。)

全ての情報が入力されていることが確認できたら、「SUBMIT」を押してデータを送信します。

【投稿】

ローターアクトクラブ活動報告

地区ローターアクト委員会

副幹事 片山亮輔 (福岡南RAC)

平素よりお世話になっております。地区ローターアクト副幹事の片山亮輔と申します。ローターアクトより活動報告をさせていただきます。

【九州4地区合同PRイベント】

10月28日、福岡縣護国神社にて開催された九州4地区合同PRイベントにローターアクトも参加させていただきました。

当日は画用紙に落ち葉を貼り付ける「落ち葉アート」と折り紙ワークショップを出展しました。子ども連れの方が多く来場いただき楽しんでいただけたようです。

イベントブースでは八幡ローターアクトクラブと若松ローターアクトクラブによるアコースティックライブを行いました。こちらは地区のインスタグラムに動画を掲載しておりますのでお手すきの際にご覧ください。

そのほか、来場者や出展者の皆様にアクト情報を掲載したお菓子を配ることで直接の広報も行いました。

また、オンライン配信では、九州4地区のローターアクト代表者による対談も開催しました。こちらは限定配信になっておりますので、視聴希望の方は「fukuoka2700@gmail.com」宛にご連絡いただければ幸いです。60分弱と長めの動画ですが、各地区の取り組みやテーマごとの代表者意見交換などタイムスタンプを設定しておりますので、気になるところからご覧い

ただけます。

今回、このような機会をいただきまして誠にありがとうございました。今後ともローターアクトをよろしくお願いたします。



アコースティックライブ前の練習風景



ローターアクトブースの様子



地区インスタグラム
QRコード

【投稿】

交換留学生22年ぶりに 太宰府ロータリークラブの例会出席

第2700地区フェローズ委員会

委員 今村 次美 (太宰府RC)

スウェーデンからの交換留学生 カリン・ブーンさんが22年ぶりに太宰府ロータリークラブの例会に参加されました。

仕事で東京に来ていると連絡を頂いていた為、太宰府ロータリーの例会への参加をお誘いしたところ、「行きます!」と嬉しい返事が返ってきました。

当時、18歳だった女子高生は、現在、二児の母になり、本職はプロカメラマンとして、世界を駆け回っています。

日本語はだいぶ忘れてしまっていたようですが、持ち前の明るさで例会会場は大いに盛り上がりました。当日は国際奉仕卓話の日でもありましたので、トーク形式で様々なお話しをして頂きました。

将来は、日本文化をスウェーデンに伝える活動をしていきたいと力強く述べていらっしゃったことが印象に残っています。

例会終了後も会員の皆さんとの会話が弾み、彼女から「是非、スウェーデンに来て下さい」の誘いに会員の皆さんからは「皆で行きましょう」とお話しをされました。

成長した交換留学生が世界で活躍し、青春時代を過ごした日本とスウェーデン両国関係の良きメッセンジャーとなっていくことに期待が益々、高まります。



【投稿】九州4地区合同活動報告

～ CREATE HOPE in Q-shu × END POLIO NOW ～

九州4地区合同

公共イメージ向上+エンドポリオ事業 開催のご報告と御礼

九州4地区合同 公共イメージ向上事業

統括実行委員長 田村志朗 (福岡東RC)



去る10月28日(土)、～ CREATE HOPE in Q-shu × END POLIO NOW ～九州4地区合同 公共イメージ向上+エンドポリオ事業が無事終了致しましたのでご報告をさせていただきます。

国際ロータリーは、現在のロータリーの課題として、「ロータリーのことは知っているが、ロータリーが何をしているか知らない」という市民の多くの認識評価のもとに、従来の日本のロータリーの奉仕に対する陰徳精神的考えを180度転換し、クラブや地区、そしてRIの奉仕の実績を最大限PRすることに力点を移し、広報活動を強調するようになりました。これまでの長きにわたり積み重ねられてきた第2700地区全クラブの活動が各地域に根づいていることが広報そのものです。これを、各地域外の、そしてロータリアン以外の一般の人々に広く知って頂くためにあらゆる努力をすることが広報・公共イメージ委員会の使命だと思えます。

そのために、九州内の4地区(第2700地区、第2720地区、第2730地区、第2740地区)の各広報・公共イメージ委員会は、2年をかけて合同で企画検討を行ってきました。

そして、今般毎年10月24日に行われている「世界ポリオデー」にも時期を合わせる形で10月28日に、九州4地区が合同で本事業を行うこととなりました。

当地区では、福岡縣護国神社(福岡市中央区六本松)

を会場としてお借りし、以下の部会に分かれて事業を行いました。

RC・専門委員会ブース部会

部会長 細川忠広 会友(小倉中央RC)

パネル展示部会

部会長 江里口吉光 会友(福岡城西RC)

ステージ部会

部会長 若杉朗仁 会友(福岡城南RC)

ロータリーマーケット2700部会

部会長 北垣友和 会友(小倉中央RC)

キッチンカー部会

部会長 矢野亮介 会友(福岡東RC)

広報部会

部会長 古賀公彦 会友(浮羽RC)

エンドポリオ部会

部会長 田村志朗(福岡東RC)

RC・専門委員会ブース部会では、出展希望のあったRCや専門委員会にブースを出して頂き、それぞれの活動をご紹介いただきました。

パネル展示部会では全60クラブの活動概要をパネルにして展示いたしました。本パネルは4月14日の地区大会にても展示予定となっています。





ステージ部会では、護国神社の参集殿をステージとし、和太鼓や空手の演武、ローターアクターによるバンド演奏、eスポーツイベント、そしてホシザキ株式会社の坂本会長（名古屋名東RCクラブ会員）のご講演を行いました。

ロータリーマーケット2700部会では、会外に広く出店を呼びかけ、出店頂いた方々にロータリーを知って頂くとともに、商品の販売や展示を通じてご来場くださった方々にもロータリークラブの活動を知って頂く機会となりました。

キッチンカー部会では、会場における食事提供の利便性の観点もごさいますが、地域を少しでも盛り上げていけたらという想いから、地域に根差して展開してもらえる様々なジャンルの飲食店様にご協力頂きました。

広報部会では、ロータリーにおける外向きの広報と内向きの広報とに分け、主に外向きの広報に主眼を置いた広報展開を行いました。具体的には、TikTokやSNSの活用、福岡市営地下鉄、西鉄、JRの主要駅におけるポスター掲示、チラシ作成、ノボリ旗の作成などを行いました。

エンドポリオ部会では、ポリオ根絶についての啓発活動をロータリアン以外の方にも知ってもらうため、募金活動やポリオを題材とした映画「プレス」の上映を行いました。募金総額はエンドポリオのTシャツ販売（171枚販売）も含めて、56万3,458円集まりました。

上記の事業以外にも、ロータリークラブ認知度調査（アンケート）を行い、300件以上の回答を集めること

ができました。あなたは「ロータリークラブ」という団体のことを、どの程度知っていますか という問いでは、59%の方が名前を聞いたことがある又は知らないとの回答結果となり、まだまだロータリークラブの活動が一般には知られていないことも分かりました。

ご参加された方から沢山のお褒めの言葉を頂きましたが、中でも一番嬉しかった感想は、「地区大会以外でこうして各ロータリークラブから会員が集まって一つの事業を行うことは経験したことが無いので大変楽しかった」という内容でした。

これからもロータリーにおける公共イメージ向上のためクラブや地区の枠を越えて活動の輪が広がっていくことを願ってやみません。結びにあたり、本事業開催のため沢山の方々にお力添えを頂きました。この場をお借りして深甚より御礼申し上げます。ありがとうございました。



【ロータリー用語解説】

DLPとCLP (第1回)

一般会員には難解な「DLP」と「CLP」について、2回に分けて解説します

義務

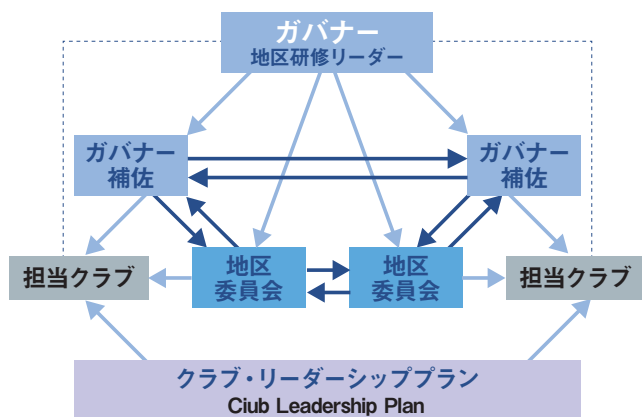
DLPとは 地区レベルでの機構組織の整理

DLPは、District Leadership Planの略称で、和名では『地区リーダーシップ・プラン』です。

【趣旨】

このDLPとは、「クラブの活性化を支援するために地区の支援体制を充実させる」ことを目的とした地区の管理計画のことです。ちなみに、ガバナー補佐は、このDLPに基づいて任命されていて、各担当のクラブに対してガバナーの補佐業務を行います。なお、このDLPは、RIによってすべての地区に導入が義務付けられています。

【DLPによる地区管理のしくみ】



【具体的な内容】

- ガバナー補佐の任命
- ガバナー補佐の研修
- 地区の委員会の構成の見直し
- ガバナー、ガバナー補佐、地区委員会の相互連絡方法の調整
- ガバナー補佐による指導力の継続性の確保
- 地区委員会の継続性の確保

任意

CLPとは クラブレベルでの活動活性化プログラム

CLPは、Club Leadership Planの略称で、和名では『クラブ・リーダーシップ・プラン』です。

【趣旨】

このCLPとは、ロータリークラブの強化を図るために、効果的なクラブの管理の枠組みを定めたものです。なお、DLPと違ってこのCLPは、クラブ自治権に関することですので義務付けはされておらず、RIによる推奨事項にとどまっています。

【具体的な内容】

9ステップの実行策の導入を提示

- ①クラブ発展に繋がる長期計画の立案
- ②長期目標を支える年次目標の設定
- ③クラブ協議会などを通じて会員全員がクラブ活動に参加していることを実感できるようにする
- ④クラブ内及び地区との情報伝達をガバナー補佐や地区委員を通じて円滑に図る
- ⑤年度から年度への継続性を保つため、クラブ指導者間の協力を緊密に保つ
- ⑥独自のクラブ運営が反映できるように、クラブの長期計画や細則を適宜修正する
- ⑦クラブ会員間の親睦が深まるような奉仕と親睦の機会を提供する
- ⑧会員全員がクラブのプロジェクトや奉仕活動に活発に関与するように計画する
- ⑨会員に対する包括的な研修プランを立案し、指導者を育成する

10月度 会員数増減・累計出席率・My Rotary登録状況

グループ	クラブ名	例会数	当月末 累計出席率	期首		当 月				期首からの累計			My Rotary 登録率 (11/8現在)	23年7月1日 目標会員数
				会員数	(内女性)	入 会	退 会	末日会員数	(内女性)	入 会	退 会	増 減		
1	豊 前	4	79.23	30	2	0	0	29	2	0	1	-1	51.72	30
	豊 前 西	2	76.83	8	1	1	0	9	1	1	0	1	44.44	13
	苅 田	4	73.48	34	4	0	0	37	6	3	0	3	70.27	40
	田 川	4	94.51	39	3	0	0	40	3	1	0	1	95.00	41
	行 橋	3	77.52	45	6	0	0	47	7	2	0	2	96.61	51
	*衛星クラブ	2	60.44	14	8	0	1	12	6	0	2	-2		18
	行橋みやこ	4	69.21	55	3	0	0	56	3	1	0	1	100.00	57
	計(6RC)	23	77.75	225	27	1	1	230	28	8	3	5	76.34	250
2	小 倉	4	89.59	66	4	0	0	71	4	5	0	5	23.94	63
	小 倉 中央	3	92.56	41	13	0	0	43	13	2	0	2	83.72	46
	小 倉 東	3	87.69	93	6	0	0	98	7	5	0	5	57.14	100
	小 倉 南	4	98.24	52	0	0	0	56	0	4	0	4	26.79	60
	小 倉 西	3	80.84	44	1	0	0	45	1	3	2	1	17.78	49
	門 司	4	89.94	31	2	0	0	34	2	3	0	3	2.94	36
	門 司 西	4	76.58	36	0	0	0	38	0	2	0	2	34.21	43
	戸 畑	3	80.95	18	2	0	0	18	2	0	0	0	44.44	21
	戸 畑 東	3	84.84	23	2	0	0	22	2	0	1	-1	31.82	25
	若 松	3	85.71	22	4	0	0	22	4	0	0	0	63.64	24
	若松中央	4	74.53	23	1	0	0	21	1	1	3	-2	28.57	25
	計(11RC)	38	86.88	449	35	0	0	468	36	25	6	19	37.73	492
3	飯 塚	4	94.15	72	0	1	0	74	0	3	1	2	16.22	78
	直 方	4	81.91	33	4	0	0	34	4	1	0	1	52.94	42
	直 方 中央	3	85.46	32	6	0	0	33	6	1	0	1	96.97	34
	遠 賀	3	83.06	44	4	0	0	45	5	2	0	2	46.67	49
	八 幡	4	85.35	45	5	0	0	47	6	3	1	2	25.53	55
	八 幡 中央	3	95.80	50	3	0	0	53	5	4	1	3	50.94	55
	八 幡 南	4	85.66	49	1	0	1	49	1	1	1	0	34.69	52
	八 幡 西	4	90.20	49	0	0	0	49	0	0	0	0	36.73	52
		計(8RC)	29	88.78	374	23	1	1	384	27	15	4	11	45.09
4	太 宰 府	3	93.40	46	4	0	0	46	4	0	0	0	100.00	50
	福 岡	4	85.91	118	2	2	0	135	3	17	0	17	67.41	135
	福 岡 平成	3	79.58	45	12	1	0	48	12	4	1	3	71.43	50
	福 岡 東	4	81.94	74	15	0	0	75	15	1	0	1	74.44	82
	*衛星クラブ	2	84.00	14	2	1	0	15	2	1	0	1		18
	福 岡 城南	4	84.79	51	10	2	0	55	10	4	0	4	37.74	63
	福 岡 南	3	76.25	87	0	1	0	90	0	3	0	3	79.80	96
	*衛星クラブ	2	70.49	9	4	0	0	9	4	0	0	0		12
	福 岡 東南	4	68.71	72	8	1	0	73	10	3	4	-1	58.70	79
	*衛星クラブ	1	57.97	15	2	1	0	20	2	9	1	8		13
	博多イヅナ	4	74.00	51	11	0	0	54	11	3	0	3	96.30	52
	宗 像	3	80.51	42	5	2	0	46	5	5	1	4	60.87	47
	対 馬	4	80.00	21	4	0	0	22	4	2	0	2		23
*衛星クラブ	2	85.42	12	2	0	0	12	2	12	0	12	5.88	13	
	計(10RC)	41	80.43	657	81	11	0	700	84	64	7	57	65.26	733
5	福 岡 中央	4	88.17	50	5	1	0	52	5	4	0	4		54
	*衛星クラブ	2	91.25	9	1	0	0	10	1	1	0	1	69.35	11
	福 岡 イヅナ	4	74.79	31	5	1	0	35	7	4	0	4	62.86	35
	福 岡 城西	4	93.16	111	0	1	0	116	0	5	0	5	28.45	130
	福 岡 城東	3	85.25	27	3	0	0	26	2	1	1	0	15.38	29
	福 岡 北	3	89.68	55	0	1	1	53	0	1	3	-2	35.85	67
	福 岡 西	4	88.62	137	1	2	2	145	2	10	2	8	33.10	145
	博 多	3	95.77	51	3	1	0	58	5	7	0	7	70.18	61
	彦 岐	4	83.67	40	2	0	0	40	2	0	0	0	57.50	43
	彦 岐 中央	4	86.99	24	1	0	0	25	1	3	0	3	56.00	30
	糸 島	4	85.66	55	1	1	1	54	1	1	2	-1	57.41	60
	計(10RC)	39	88.43	590	22	8	4	614	26	37	8	29	48.61	665
6	甘 木	3	91.02	59	2	0	0	59	2	0	0	0	38.98	62
	久 留 米	3	80.69	85	4	0	0	86	4	0	0	0	31.76	90
	久留米中央	3	99.36	39	3	0	0	40	3	0	0	0		46
	*衛星クラブ	2	98.81	0	0	0	0	11	2	0	0	0	50.98	0
	久留米東	4	85.50	78	7	0	0	77	7	0	0	0	31.17	80
	久留米北	3	85.67	75	7	0	0	75	7	0	1	-1	41.33	78
	小 郡	3	86.21	48	1	0	0	47	1	0	0	0	41.67	52
	鳥 栖	3	86.89	51	3	0	0	53	4	0	0	0	39.62	65
	浮 羽	2	77.13	37	1	1	0	38	1	1	0	1	28.95	44
	計(8RC)	26	86.18	472	28	1	0	486	31	1	1	0	38.06	517
7	筑 後	3	96.89	21	0	0	0	24	0	3	0	3	37.50	24
	大 川	4	81.95	39	1	0	0	39	1	1	1	0	100.00	45
	大 牟 田	5	88.34	65	5	0	0	65	5	0	0	0	46.15	66
	大牟田北	4	82.61	50	2	2	0	52	2	2	0	2	75.00	53
	大牟田南	3	83.97	24	0	1	0	26	0	2	0	2	26.92	29
	八 女	4	79.04	23	3	0	0	25	4	2	0	2	8.00	26
	柳 川	3	86.87	47	4	0	0	47	4	0	0	0	68.09	48
	計(7RC)	26	85.37	269	15	3	0	278	16	10	1	9	51.67	291
総 計		クラブ数	当 月						2023年6月末日からの累計			My Rotary登録率 (11/8現在)	23年7月1日 目標会員数	
		60	累計出席率	期首会員数	(内女性)	入 会	退 会	末日会員数	(内女性)	入 会	退 会	増 減	51.82	3,365
			84.83	3,036	231	25	6	3,160	248	160	30	130		

*衛星クラブ: 行橋COSMOS / 福岡東令和あけぼの / 福岡南ファミリア / 福岡中央エンジヨイ / 福岡東南けやき / 対馬ちんぐ / 久留米中央みらい

寄付認証者紹介 (10月分)

ポール・ハリス・フェロー

安部 泰宏 君 福岡城西RC Multiple	松鶴 秀世 君 八幡南RC Multiple
川鍋 孝正 君 福岡城西RC Multiple	今任 智恵子 君 福岡城南RC Multiple
金谷 永圭 君 久留米東RC Multiple	野中 一英 君 福岡城南RC Multiple

米山功労者

	表彰回数		表彰回数
麻生 誠 君 福岡RC	3	石川 昇 君 八幡南RC	7
松尾 幸静 君 福岡東南RC	4	二村 吉則 君 小倉RC	2
伊豆 幸次 君 宗像RC	3	坂本 喬 君 久留米東RC	21
松尾 利弘 君 鳥栖RC	4	東 重樹 君 福岡城南RC	7
甲斐田 眞道 君 糸島RC	13	金谷 永圭 君 久留米東RC	5
佐竹 一生 君 糸島RC	1	杣 巖 君 小倉RC	7
山本 常義 君 糸島RC	1	神崎 大 君 小倉西RC	1
添島 喜久雄 君 大川RC	2	田中 稔 君 鳥栖RC	3
中嶋 文行 君 飯塚RC	14	山本 啓之 君 若松中央RC	7
藤田 光司 君 飯塚RC	1	三好 孝一 君 福岡城西RC	6
嶋田 吉勝 君 飯塚RC	3		

物故会員 (10月分)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます



故 榎本 正弘 会員
(福岡西RC)

逝去月日: 2023年10月6日
ロータリー歴: 32年4ヶ月
享年: 77歳



故 小島 孔典 会員
(福岡西RC)

逝去月日: 2023年10月17日
ロータリー歴: 14年10ヶ月
享年: 66歳



故 武本 勝伍 会員
(飯塚RC)

逝去月日: 2023年11月8日
ロータリー歴: 43年7ヶ月
享年: 85歳

12月地区内行事予定表

2日(土)	RL1ファシリテーター研修会(〜3日) 米山記念奨学生面接官研修 ローターアクト 福岡北部 IM
4日(月)	次年度地区米山奨学委員長対象セミナー
5日(火)	地区財務委員会
7日(木)	第7グループ 社会奉仕委員長会議
8日(金)	地区ラーニング委員会
10日(日)	ローターアクト 第3エリア会議
12日(火)	クラブ運営支援委員会 広報・公共イメージ委員会
14日(木)	第3回 ガバナー諮問委員会、野崎ガバナーエレクトご夫妻社行会 会員増強委員会 ロータリー財団委員会
16日(土)	IAC提唱RCインターアクト委員長フォローアップ研修 ローターアクト 福岡南部 IM、第2回 会長・幹事会 国際青少年交換派遣・受入れ学生オリエンテーション、クリスマス交流会
21日(木)	インターアクト委員会

10月新会員ご紹介 (19RC 25名) ※衛星クラブ

グループ	クラブ名	お名前(敬称略)
1	豊前西	平川 洋一
3	飯塚	岩佐 紀輝
4	福岡	水木 祐一 西山 勝
	福岡平成	福沢 文治
	福岡東	渡邊 大輔*
	福岡城南	二宮 浩一 橋本 千代次
	福岡南	櫻井 大輔
	福岡東南	川添 憲二 中山 拓哉*
	宗像	野崎 幸重 宮崎 直也
	福岡中央	堤 春比古
	福岡イブニング	讃井 絢子
	福岡城西	金子 浩之
5	福岡北	今村 弘
	福岡西	占部 歓久 湯澤 孝典
	博多	橋本 上
	糸島	石田 宜之
6	浮羽	野口 嘉孝
7	大牟田北	角 利津夫 仲野 隆裕
	大牟田南	内田 充生

訂正とお詫び

『月信』11月号に以下の訂正の報告がございました。お詫びして訂正させていただきます。

- 「ガバナー公式訪問報告書」P19 久留米東RC様 会長名(誤) 森永→(正) 森光
- 「クラブ紹介」P32 八幡南RC様 タイトル(誤) 伝統を受け継ぎながら、新しいクラブの形を発信(正) 和気あいあいと新会員にプレッシャーをかけない

第2700地区ガバナー月信 編集委員会連絡所

月信担当/桑野智彰・宮本由希・井上誉之・梅原健・花田公一・川畑輝雅・橋本道成
連絡先/株 梓書院 ガバナー月信編集局
〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代3-2-1
TEL092-643-7075 FAX092-643-7095
E-mail: mail@azusashoin.com

Rotary 国際ロータリー第2700地区 ガバナー事務所

〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル 5F
TEL.(092) 481-2650 FAX.(092) 481-2651

事務所長 E-mail: gocheef@2700rid.com
事務所 E-mail: ri2700go@2700rid.com
(執務時間) 平日/9:30~17:00 土曜日・日曜日・祝日/休務